**令和６年度　認定こども園すみれ保育園　園の評価**

評価基準

a　…　十分できている　　　ｂ　…　できているが十分ではない

c …　あまりきていない　　ｄ　…　ほとんどできていない。改善を要する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 評価項目 | 総合評価 | 個人の改善点 |
| 保育の理念・基本方針 | 園の保育理念や保育目標をしっかりと理解できていますか。 | a | ・子どもたちが自らやってみたい、こんな風に動きたい、と思える環境作り、関りを深く考えていきたい。 |
| 子どもの人権に十分配慮するとともに、互いに尊重する心を育てるように配慮していますか。 | b | ・一人ひとりの健康観察に留意しながら保育に努めるとともに、保護者との共有にも努めていくように心がけていく。  ・保育の目標や理念を理解し、子どもの人権に配慮していきたい。 |
| 保育の内容（健康） | 子どもの発育や状態、家庭での食事、睡眠などの状態について保護者から情報を得るようにしていますか。 | ｂ | ・環境設定に配慮しながら安心・安全のもと子どもが遊びを楽しめるようにする。  ・保護者と積極的にコミュニケーションを取り、子どもたちの様子をより詳しく把握できるようにしたい。 |
| 登園時、子どもの健康観察（機嫌、顔色など）を行っていますか。 | a | ・昨年の反省を生かし、自分でできる姿は過剰に補助しすぎないように心掛けた。その日の疲れによっても出来る姿は変化していくため、援助の見極めをより丁寧に行っていきたい。 |
| 保育中、子どもの様子（機嫌、食欲など）の把握をしていますか。 | a | ・家庭との連携は大切にしているが、なかなか会って話すことがで  きない保護者もおり、十分に伝えられていたか反省している。  会って話す時間は保護者にとって大切だと思うので、もっと話しかけ共有していきたい。 |
| 一人ひとりの生理的欲求（食欲や睡眠）が満たされるよう配慮していますか。 | ｂ | ・園庭や散歩先で体をたくさん動かして遊ぶ機会をもっとふやしていく。 |
| 子どもが伸び伸びとからだを動かせるよう、時間、場所、遊びを確保していますか。 | ｂ | ・家庭事情により情報を得ることが難しくても、健康的に過ごせる |
| よう情報を共有していくことを怠らないようにする。 |
| 外遊びや散歩など、戸外で遊ぶ機会を多く取り入れていますか。 | a | ・常に子どもの機嫌や体調を把握し、感染症に気をつけていく。 |
| 生活面において、子どもが自分でできることは自分でしようとする意欲や姿勢を十分に見守っていますか。 | ｂ |  |
| 保育の内容（環境） | 一人ひとりの子どもが伸び伸びと遊べるよう見守っていますか。 | ｂ | ・発達や興味に合わせた様々な遊びの環境を作っていきたい。  ・発達に合わせて玩具を変えることを怠っていることがあったので、少し難しいものを出したり、定期的に変えていくようにする。 |
| いろいろな遊びの中で、全身を使って体を動かすことができるよう配慮していますか。 | a | ・玩具がマンネリ化してしまった。継続して遊ぶことはできたがもう少し工夫が必要だった。  ・手出しが多い児への対応では、過剰に防ごうと制止に入ってしまったが、もっと子どもの様子を見て気持ちの葛藤を理解して介入できるようにしていく。  ・自然物や玩具など、子どもの好みや興味に合わせて用意するが  遊びがすぐに終わってしまうことがあるので、繰り返し楽しめる |
| 戸外でのいろいろな遊びを意欲的に楽しむことができる機会を設けていますか。 | a |
| 子どもが全身を介して直接自然と触れ合う  体験をする機会を設けていますか。 | b |
| 子どもがいろいろな物に触れながらその性質や仕組みに興味が持てるよう配慮していますか。 | b | 工夫や、興味が沸く配置などを工夫していく。  ・トラブルになってしまうことは避けたいがその日に児の様子を  見極めながら、子ども同士の関わりを見守る気持ちを大切にしていきたい。  ・年間を通して、クラス内で玩具を変えたり、遊び方を変え、その時の子どもに合ったものを用意出来たが、物の入れ替えやタイミングなどを他の先生に任せてしまい、自分でやろうとする姿が少なか  ったので、来年度は自ら気付き行動していきたい。  ・子どもが“したい” “やってみたい”という気持ちを大切に受け止め、好きな遊びができるようにしていく。 |
| 子どもがいろいろな物に触れながらその性質や仕組みに興味が持てるよう配慮していますか。 | b |
|  |
|  |
| 保育の内容（人間関係） | 園生活の中で、子どもが充実感を味わえるような体験を取り入れていますか。 | ｂ | ・子どもの思いに寄り添い、受容、モデル、代弁等に心がけていきたい。 |
| 子どもが保育教諭や友だちと共に過ごすことを楽しめるような配慮をしていますか。 | a | ・環境を整えることと、子どもが自由に遊ぶことのバランスをとるようにする。 |
| 保育教諭の言動の一つ一つを子どもはモデルとして学んでいることを知っていますか。 | a | ・トラブルや失敗からの学びを見守ることを意識していく。  ・園庭での遊びが制限されてしまうことが多く、安全性も  考えながら遊びをリードする場面も増やしていく。  ・子ども同士のトラブルもひとつの学びとして保育教諭が関わるようにしていく。 |
| つまずきや葛藤、けんかなどの経験が成長に欠かせないものととらえ適切に対応していますか。 | ｂ |
| 子どもが思ったことを友だちに伝え、相手の思っていることにも気づくように援助していますか。 | a | ・けんかが成長にかかせないと思いつつも、子どもの手がで |
| てしまうので早めに止めてしまうことが多い。お互いの思いを伝えるようにしているが手が出ることを防ごうと間に入って止めると、その個の思いを受け止めきれず、時間を置いてから再び手を出しているケースがある。しっかりと思いを受け止めるようにしていく。 |
| 保育の内容（言葉） | 子どもの発達や理解力に合わせた言葉を使うよう心がけていますか。 | a | ・あたたかいことば掛けを大切にしながら心地よく過ごせるようにしていく。  ・子どものことばの先取りをしてしまうので、気を付けていきたい。 |
| 子どもの表情や姿をよく観察し、その場に適した言葉がけをするよう心がけていますか。 | ｂ | ・先取りして声を掛けすぎないよう心掛けていきたい。  ・子どもの気持ちを受け止めるようにはしていたが、言葉にかえる援助は不十分だった。 |
| 子どもの気持ちに寄り添いながら疑問や質問に答えたり、一緒に考えるよう心がけていますか。 | a | ・全体での読み聞かせの機会が少なかったので今後は増やしていく。  ・声が大きく響きやすいので、ことば使いやことばの選び |
| 正しい言葉づかいや声の大きさに配慮していますか。 | ｂ | 方に気を付け穏やかに子どもたちへの声かけができるよ  う留意していく。 |
| 子どもが見たり考えたりしたことなどを自分なりに言葉で表現しようとするよう援助していますか。 | a | ・忙しくしていると、子どもたちの声を拾うことが難しく、子どもたちを待たせることが多くなってしまった。その分、別の場面でゆったり関われるようにしていく。 |
| 絵本の読み聞かせなどを通して、言葉への興味や関心を育てるよう心がけていますか。 | a | ・トラブルの際、声が大きくなってしまうことがあるので、気を付けていく。  ・発達に合わせた言葉のやりとりを心がける。  ・次の活動が楽しみになることばがけをしていきたい。 |
| 保育の内容(表現)  保育の内容（表現） | 子どもが歌ったりリズムに合わせて体を動かしたりして、表現の楽しさに気付くよう配慮していますか。 | ｂ | ・外あそびで色々なものに触れるようにしたが、もっと他の素材を出したり工夫していく必要がある。  ・身近な自然の素材に触れ、楽しむ機会を増やしていく。  ・リズム遊びやふれあい遊びのレパートリーが少なかったと反省した。新しいものを、積極的に取り入れチャレンジしていきたい。  ・小麦粉粘土等、感触を楽しめる遊びももう少し取り入れても良かった。教材研究をしていきたい。  ジしていきたい。 |
| 子どもの表現を受け止め、共感し、表現することの楽しさを味わえるよう配慮していますか。 | a |
| 様々な音、色、形、手触り、動き、香りに気付いたり、心地よさを感じる機会を作っていますか。 | a |
| 水、砂、土、紙など自然の素材に触れて楽しむ機会を取り入れるよう心がけていますか。  感じたことや考えたことを自由に表現できる機会を設けていますか。 |  |
| 保育の内容(乳児保育) | 一人ひとりの乳児の育児や発達の状態をよく観察したうえで、常に体の状態を細かく観察していますか。 | b | ・衣服の着脱時、伝え方がうまくいかないことがあるので、言葉選びに気を付けていきたい。  ・手遊びや絵本の時間を取り入れ、子どもの発達につながるようにしていく。  ・食べることの楽しさをこれからも伝えていくようにする。 |
| たて抱き、腹這いなど子どもが様々な姿勢をとれるようにしていますか。 | a |
| 乳児を寝かせる場合には安全に配慮し、呼吸と体位のチェックを行い、記録をしていますか。 | a |
|  |
|  |
| 外気に触れたり戸外遊びを行う機会を設けていますか。 | ｂ |
| 離乳食については、家庭と連携を取りながら一人ひとりの子どもの状況に配慮して行っていますか。 | ｂ |  |
| 保育の内容（１・２歳児） | 基本的な生活習慣の習得については、一人ひとりの子どもの発達過程に応じて行っていますか。 | ｂ | ・健康観察、発育、発達状態等、職員間での連絡、一貫性のある保育を今後も大切にしていきたい。  ・同じクラスの担任が、自分で気が付かないことに気付い |
| 子どもの意欲や自分でやりたいという気持ちを尊重しながら、適切な援助を行っていますか。  衣服の着脱にあたって、丁寧にやり方を教え、自分でしようとする気持ちを尊重していますか。 | a      　b | て情報を共有していたので、今後はもっと細かに見るようにしていく。  ・家庭でトイレを進めて園でも進めてほしいと希望する児 |
| にはその意図を感じてトイレに誘う回数が多くなるが、“自  分から”を大切にしていきたい。 |
| ゆったりとした気持ちで自分から便器に座ったり排泄したりできるよう配慮していますか。 | ｂ |
| 楽しい雰囲気の中で自分で食事をしようとする気持ちを大切にしていますか。 | ｂ |
| 保育の内容(３歳以上)  （３歳以上児） | 生活に必要な習慣や態度を身につけ、適切な行動を選択できるよう配慮していますか。 | b | ・就学に向け、年長児としての姿をもっと引き出してあげ  る必要があった。自分たちが園のリーダーとなった自覚を持って、園生活が送れるような働きかけを考えていく。  ・留意はしながらも、年長児としての姿をもっと引き出し  てあげたかったと反省した。自分たちがリーダーとなった  自覚を持って園生活を送れるような働きかけを考えていく。 |
| 決まりがあることの大切に気づき、自ら判断して行動できるよう配慮していますか。 | b |
| 感じたことや想像したことなどを表現できるよう、様々な環境の設定に留意していますか。 | ｂ |
| 保育が小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに留意していますか。 | ｂ |
| ・大まかな決まりの中で、柔軟に保育を変えていく難しさを  感じた。自由だからこそ時には、分かりやすく決まりを知らせたり、この範囲の中で自由に考えたり、見守る力が必要だと感じた。 |
| 保育の計画及び評価  保育の計画及び評価 | 園の保育課程（全体的な計画）を理解していますか。 | ｂ | ・一人ひとりの発達を把握し、その発達にあったねらいを設定していく。  ・保育計画に基づいた評価・反省をクラスの職員と話し合う機会を持ち、参加するように心がけ、一貫性のある保育を大切にしていく。 |
| 指導計画を作成する際、長期的な指導計画と短期的な指導計画を作成していますか。 | ｂ |
| 一人ひとりの子どもの状態を踏まえ、個別的に  作成していますか。（0～2歳児） | b |
| ・日々の保育を振り返り、反省や課題を次の保育にいかせるようにする。 |
| 指導計画に子どもの発達過程などを見通した  具体的な「ねらい」と「内容」を設定していますか。 | b |
|  |
| 子どもの発達、興味、関心に基づいて指導計画を見直し、次の指導計画の作成に活かしていますか。 | ｂ |  |
| 障がいかある子どもがいる場合、その子どもの特性に合わせた個別支援のための計画を立てていますか。 | ｂ |
| 自身の保育を振り返り、反省や評価を行い、次の指導計画の作成に活かしていますか。 | ｂ |
| 健康及び安全 | 子どもの日々の健康状態を把握し、一人ひとりの保育に活かしていますか。 | a | ・感染症についての知識を深めていく。  ・長期に渡って鼻水、咳、目やに、肌トラブルが |
| 感染症に対する知識を持ち、その症状や流行時期などを把握していますか。 | a | 続いている児に対して受診を勧めることの難しさを感じた。今後は保護者と子どもの状態を見ながら  受診を促せるようにしていきたい。 |
| 午睡中、子どもの顔色や呼吸の状態をきめ細かく観察していますか。 | a |
|  |
| 保育に従事する者として、服装や身支度に配慮し、自らの健康と清潔を常に心がけていますか。 | b | ・子どもの健康面、安全面に留意し日常生活を安心して過ごせるよう努めていきたい。  ・子どもたちが使った玩具や遊具が安全か確認し、消毒を定期的に行う。  ・子どもたちが進んで食事が食べられるような環境作りを心がけていく。  ・毎月行なっている避難訓練のおかげで、流れは理解しているものの、不審者対応等まだ慣れていないものもあるので、再確認していきたい。  ・今後も子どもたちの命、安全、安心を大切にし、保育をしていきたい。  ・コロナの規制が緩和され、玩具を消毒する意識が |
| 保育室、トイレなどを清掃し、常に清潔を保つようにしていますか。 | a |
| 子どもが使用する玩具などを消毒し、常に清潔を保つようにしていますか。 | a |
| おむつの交換や嘔吐物などの処理の際、手洗いや使い捨て手袋などの使用など衛生に配慮していますか。 | a |
| 園内の整備、玩具、用具など定期的に確認し、破損の有無を確認していますか。 | b |
| 日常的に利用する散歩経路や公園などの異常や危険などを定期的に点検していますか。 | ｂ | 低くなってしまった。感染症が流行する時期には  気を付けて消毒を徹底していきたい。 |
| 災害が発生した場合の対応方法を理解していますか。 | ｂ |  |
| 食事が保育の内容の一環であり、食育として位置づけられていることを理解していますか。 | a |  |
| 子どもが落ち着いて食事やおやつを楽しめるよう配慮していますか。 | a |  |
| 子どもが残さず食べることを強制したり、偏食を直そうと叱ったりしないよう配慮していますか。 | a |
| 食事の食べ具合などを、必要に応じて保護者に伝えていますか。 | b |  |
| 保護者支援 | 送迎の際の会話や連絡帳を通して、保育の内容や子どもの様子などを保護者に伝えていますか。 | ｂ | ・積極的に保護者とコミュニケーションを取るようにしていく。  ・Teamsを通して子どもたちの姿を発信するこちができ、保護者  との会話のきっかけとなった。しかしその会話が特定の方ばかりになってしまったので、送迎の一瞬の声かけだけでもより丁寧に行っていくようにする。  ・保護者の声を聴き、誠実に関わりながら子どもの成長を一緒に喜び合う気持ちを大切にしていきたい。  ・今後も一人ひとりの子どもに寄り添った保育を心がけると共に、保護者支援も大切にしていく。  ・同じクラスの担任に頼りきりになった部分があったで、少しでも会話ができるようにしていきたい。  ・保護者の良き相談者として、子どもの成長を共に喜び合えるよう  努めていきたい。 |
| 保護者が子育ての悩みなどを安心して話せる存在となれるよう努めていますか。 | ｂ |
| 保護者の子どもに対する虐待の早期発見に努めていますか。 | ｂ |
| 職員の資質向上  の資質向上 | 自身の人間性や倫理観が子どもに影響を与えることを自覚していますか。 | a | ・園内研修も参加できない回が多かったので、来年度はもっと参加したい。 |
| 園内外における研修に目的を持って積極的に参加していますか。 | ｂ |
| 自己評価などで課題を見つけ、その課題の解決に取り組んでいますか。 | ｂ |  |

令和６年度の振り返り

【乳児室】

・子どもの様子の共有が職員間で自然にできた。職員が共通してゆったりと関わり、時には子どものタイミングで待つことができた。

・子どもたちの目線に立って一緒に楽しんだり、面白がることができた。それらがお互いを認め合うことや友だちへの興味につながっていったと思う。

・年度の後半、クラス全体が成長した分、みんなで響き合ったり子ども同士の遊びがもできるようになったが、前半は月齢差があり、更に肌・衣服などのあらゆる面でのケアも必要だったため、遊びに重点を置くことが難しいと感じた。

・散歩では、初めは近場・狭い場所からスタートし、徐々に広い公園や遊具のある公園へ段階を踏んで行くことができた。継続して行くことで、できることが増えたり、行き先を柔軟に変えることができた。

【１歳児クラス】

・子ども自身が“やってみたい”という気持ちを大切にして、発達に合わせた遊びの環境作りができた。また、繰り返し楽しみ、遊び込める時間を大切にした。

・保護者と連絡ノート以外に育ちを伝え合い共有することで、子どもの成長を喜び合えるようにした。

・トラブルの仲裁は、咄嗟の時には先回りをして手を止めたことにより、子どもの中でモヤモヤした思いが残ったと思う。子ども同士のやり取りを十分に見守り、子どもの気持ちを代弁しながらケガにつながらないようにしていきたい。

・トイレトレーニングは“自分から”という気持ちを大切にしていくことができた。

・子どもができることも援助をしてしまったので、見守ることも大切にしていく。

【２歳児クラス】

・担任間で相談しながら保育ができた。また、２歳児ならではの育ちや感情が行ったり来たりする面を、保育教諭が面白いと感じながら保育ができた。

・様々なクラスと交流していったことにより、子ども自身が年齢の区切りがなくなり自然な交流ができ遊びが豊かになった。(散歩だけでなく園庭遊びも楽しめ、ごっこ遊びの世界も広がった)

【異年齢児クラス】

・Teamsと連絡帳のバランスがとれるようになった。職員同士での発信の仕方も勉強になり刺激になった。

・子どもと１００％関われるわけでないが、状況を把握できるように職員間で協力した。

・日々の子どものことばや姿から面白い発見を拾い、それを保育に取り入れ楽しむことができた。職員の心のゆとりが大切だと改めて感じることができた。

・子どもの姿に合わせて柔軟に対応し、未満児クラスとの交流もスムーズに行うことができた。

・散歩では、必ず全員参加にせず、その日の様子で半分の人数にしたことにより、無理がなかった。また、普段関わりが少ない子ども同士が交流できるきっかけとなり良かった。

【給食室】

・給食室のInstagramを始め、外部の方々にも保育園の給食、おやつを知ってもらうことができたが、保護者でInstagramをしていない人もいるので、Teamsでも同じ投稿ができるようにしていきたい。

・保育の遊びからクッキング保育につなががり、いつもは野菜を残す子どももその時は野菜も食べ、とても楽しい様子がみられたので、そんな活動が今後増えていけたら良いと思う。

・メニューが２週間サイクルなので、１回目に残食が多かったら２回目は１回目の反省を踏まえて食べてもらえるように試行錯誤しながら調理を工夫して、なるべく残食が少なるようにこれからもしていきたい。